

取手市民大学東京大学EMP特別講座

「【光格子時計】

— 新しい時間をつくる」

参加
無料

毎年ノーベル賞候補に挙げられる次世代の1秒の定義有力候補「光格子時計」は時間の流れの違いすら観測する。

日時：**令和5年1月17日（火）**

場所：取手ウェルネスプラザ
多目的ホール

定員：200名
(応募多数時は市内在住・在勤優先)

締切は12月16日（金）まで

講師：**香取 秀俊 氏**

東京大学大学院工学系研究科・教授



内 容

普遍的な振動現象を利用して、時間を共有する道具が時計でした。かつての天文観測に代わり、現在では、遥かに正確な周期性をもつ原子の振動が時間を決めています。さらに進化した原子時計は、重力によって曲がった相対論的な時空を映し出すことで他者との時間共有の難しささえ浮き彫りにし、原子時計が基礎をおく物理定数の恒常性まで研究の対象にしようとしています。2001年に提案した「光格子時計」は、現行の国際単位系の1秒の精度を100倍以上も凌駕し、「秒の再定義」を迫ろうとしています。この精度では、地上数cmの高低差で、地球に近い時計は重力によって時間がゆっくり進むのを確認できます。最新の研究成果を紹介し、未来の時計の役割を展望します。

申 込

往復はがき往信面に講座名、代表者含む3人までの氏名、代表者の住所、電話番号、返信面にご自身の宛先を明記し、〒300-1592「生涯学習課 市民大学東京大学EMP特別講座」係宛てに、郵送か、専用フォームから申込み下さい。



問い合わせ 取手市教育委員会生涯学習課 ☎0297-74-2141